

令和6年4月

令和6年度 学校長あいさつ

横浜市立小田小学校
学校長 中川 浩二

本校に学校長として着任して4年目になります。日頃より、保護者のみなさま、地域のみなさま、ご支援を賜りまして、ありがとうございます。

本校は、平成3年度に開校されて、今年度で34年目になります。小さな田んぼがあった小高い丘を造成して本校がつくられました。「小さな田んぼ」があったことから、小田（こだ）小学校と名付けられたと聞いています。

地域とともに歩み続けながら小田小学校の良き伝統は引き継がれて、子どもたちは立派に成長し小田小を飛び立っています。また、現在、小田小に通っている子どもたちも、何事にも、まっすぐにチャレンジしながら元気よく学習しています。

令和2年度には、小田小学校と隣接する小田中学校が横浜市教育委員会より「併設型小中学校」に指定されました。令和3年度には小田中学校と合同で創立30周年記念式典を行うなど、小中連携の特色ある教育活動を進めています。

今年度、学校長として次の3つの方向性を目指して、子どもたち一人一人が、いきいきとかがやく小田小学校を職員と力を合わせて、つくっていききたいと考えています。

方向性1

- 【学校の理念】 よりよい学校教育を通じて 豊かな人格を創る
- 【目指す学校像】 子どもたちの笑顔があふれ 価値を創造し 信頼に応える学校
- 【目指す職員像】 教育への情熱をもち 専門性を高め 主体的に行動する職員

方向性2

- 【学校教育目標】 元気 友達 笑顔 いっぱい かがやく 小田小学校

方向性3

- 【中学校併設型小学校】 小中連携による特色ある教育活動の推進
隣接する小田中学校との利点を生かした小中9年間で子どもを育成

※ 詳しくは、次頁の「令和6年度版 小田小学校グランドデザイン」をご覧ください。

今年度も、保護者のみなさま、地域のみなさま、引き続き本校へのあたたかなご支援を賜りますよう、お願いいたします。



「校章のかもめ」のデザインに込められた意味

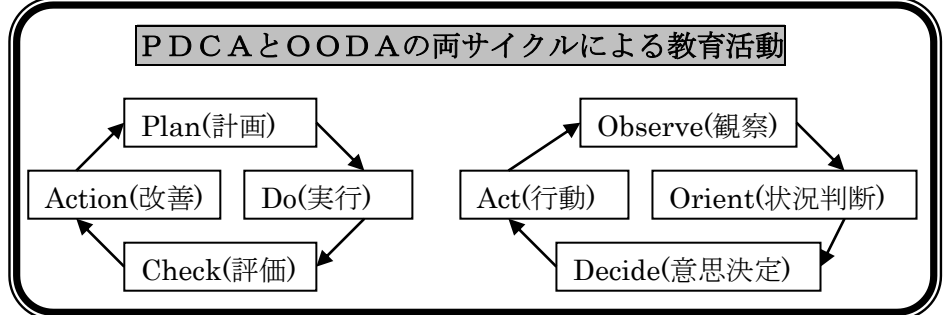
カモメのように どんな荒波にも負けない強靭さで
未来に向かって 高く 広く 大きく 飛翔する子



令和6年度版 横浜市立小田小学校 グランドデザイン

小田小学校の目指す方向性 (3つ)

- 方向性1**
【学校の理念】 よりよい学校教育を通じて 豊かな人格を創る
【目指す学校像】 子どもたちの笑顔があふれ 価値を創造し 信頼に応える学校
【目指す職員像】 教育への情熱をもち 専門性を高め 主体的に行動する職員
- 方向性2** 学校教育目標 元気 友達 笑顔 いっぱい かがやく 小田小学校
【知】 課題の解決に向けて、自らすすんで、根気強く取り組む子を育てます
【徳】 豊かなふれあいを大切にし、互いに認め合える子を育てます
【体】 心と体を鍛え、生命や健康を大切にすることを育てます
【公】 地域の人やものを大切にし、共に生きる子を育てます
【開】 様々な社会の変化に柔軟に対応できる子を育てます
詳細は、令和6年度 中期学校経営方針による (小田小ホームページに5月掲載)
- 方向性3** 中学校併設型小学校 (小中連携による特色ある教育活動の推進)
隣接する小田中学校との利点を生かした小中9年間で子どもを育成
○児童・生徒による交流、乗り入れ授業、中1ギャップの緩和 (中学校教諭による授業サポート、小中音楽集会、小中合同学校保健委員会など)
○小中企画会・小中職会を通して、小中教職員間の共通理解を図り、連携・協働の強化を図る 小中合同の授業研究会・人権研修会、小中「未来づくり科」担当者会
○令和7年度実施予定の小中一貫教科「未来づくり科」創設に向けた準備
令和6年度、3～6年生で「未来づくり科」試行授業 (総合的な学習の時間の中で)



- ### 本校の教育活動の根拠 (よりどころ)
- 教育法規及び学習指導要領
 - 横浜市教育ビジョン2030
横浜の教育が目指す人づくり
「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」
 - 第4期横浜市教育振興基本計画
 - 横浜市立学校カリキュラムマネジメント要領

- ### 日々の授業でじっくり学ぶ
- 日々の授業を大切に、各学年に応じた基礎・基本の学力の定着を図る
 - 友達と学び合いながら自分の考え方を広げたり、理解を深めたりする力を伸ばす
 - 授業研究を通して、教員の授業力向上を図り、一人一人を大切にしたい学びの推進
 - 安心して学ぶための教室の環境作り
 - 一人一台端末等によるICT教育の充実
 - 学力状況調査等の結果分析・改善

- ### 豊かな心を育む
- 自分に自信をもって生きていける自己有用感を高める たてわり活動の充実
 - 人権意識の醸成、友達の立場になって行動できる豊かな人間性の育成
 - 学校のきまりを守り、学校をよりよくしていこうとする気持ちをもつ
 - 生活意識アンケート等の結果分析・改善

- ### 安心・安全な学校づくり
- 子どもによりそい、何でも相談できる居場所をつくり、一人一人に応じた支援
 - 「小田小いじめ防止基本方針」の取り組み
 - 感染症等の対策を講じた学校生活
 - 安全教育・防災訓練を意図的計画的に実施
 - 通学路及び交通ルールを守った登下校
 - 学校施設の安全点検・維持管理、防犯対策

常に根拠を確認し教育活動の改善を図る

夢中になって学ぶ楽しさを味わうための授業の工夫

複数の教員で子どもに声をかけて、ほめて伸ばしていく

危機管理のアンテナの感度を高めて未然防止

目指す方向性を意識した組織運営

職員の力量向上が教育の質を高める

日頃より正確な情報収集に努める

- ### 学校の組織運営
- 常に子どものことを第一に考えた視点をもって組織を機能させ、迅速に行動していく
 - PDCA、OODA等による改善を通して組織を活性化
 - 職員一人一人の成長と組織の成長との両立
 - 適正な公金・準公金の執行
 - 働きやすい職場の推進、職員の負担軽減

- ### 職員の行動
- 子どもや保護者の方の相談など、よりそい、ていねいに傾聴、責任をもって対応
 - 教員は、授業力・児童理解力・学級経営力向上に努め、専門性を高めるために学び続ける
 - 全職員、自分の果たす役割を自覚的に行動
 - 教育公務員の自覚をもち、公私を問わず信頼される、ふさわしい行動

- ### 教育的課題への対応
- 本校をとりまく状況や今後予測される諸課題に向き合い対応
 - 特別支援教育など多様な教育的ニーズへの対応
 - 教育委員会や関係諸機関等と課題を共有し、連携・協働を図り対応
 - 経営資源 (ヒト・モノ・カネ・情報・時間・知的財産など) のマネジメントと拡充

学校と地域が連携・協働し子どもの育成を充実

家庭と共に子どもを育成していくことが重要

幼保小や関係諸機関との連携により教育活動を充実

- ### 地域との連携・協働
- 小中合同学校運営協議会により地域の思いや願いを反映させた開かれた学校運営の充実を図る
 - KCS (小田小地域コラボレーションシステム) によるボランティア活動の推進 地域の財を活用
 - 学援隊による児童の登下校の見守り活動で安全確保
 - 学校家庭地域連携協力推進事業、連合町内会・自治会町内会・地区社会福祉協議会との連携
 - 子どもが地域への愛着をもち、感謝の気持ちを深めることにつなげる取組 (教育的効果)

- ### 家庭・PTAとの連携・協働
- 家庭にとって安全・安心かつ信頼される学校づくり
 - 学校と家庭で目標を共有し、共に子どもを育てる
 - 家庭の思いや願いによりそい、学校運営に反映
 - PTA組織との良好な連携を図り、学校運営を充実
 - 「すぐーる」を利用し、ペーパーレス化を推進

- ### 幼保小連携 関係諸機関と連携
- 近隣幼稚園・保育園と連携を図り小1ギャップを緩和
 - 金沢・磯子区役所等の行政機関との連携
 - 金沢・磯子警察署、金沢消防署との連携
 - 校外学習・出前授業等での連携 (公共団体、民間団体、NPO 法人等)